

創立10周年記念式典・第10回国際シンポジウム 開催報告

開催日：2007年11月21日

会場：国際文化会館

参加者：約200名

第10回目の国際シンポジウムは、創立10周年記念式典とともに開催されました。午前中は、岩崎小彌太記念ホールにて創立10周年記念式典が執り行われ日本経団連より、御手洗会長が所要で出席できないため、来賓として常務理事久保田政一氏をお迎えし、お祝いのお言葉を頂戴しました。その後、朝日新聞社論説主幹・若宮啓文氏が記念講演を「政治はどこへ行く」というテーマで行ないました。混迷する政局について現状と今後の動きについて分析解説されました。



午後からは会場を大講堂に移し、BERC 恒例の年次行事の一環である第10回経営倫理国際シンポジウムが開催されました。わが国での経営倫理の仕組みづくりはかなり進んできていますが、「談合」「癒着」「過労死」等、その周知徹底については疑問が残り、加えて市場経済や政治のグローバル化の一層の進展の中で各国との経済的な相互関係の緊密化は益々増強されています。経営倫理の世界の動向を知り、わが国企業としてどう対応すべきかを検討し、今後の実践課題として克服すべき道を探ることを目的として、現在経済発展がめざましい東アジアの経営倫理の現状と今後の課題を報告していただきました。前半は、日本経済研究センター会長の小島明氏より「東アジア経済の現状と将来」というテーマで基調講演をいただきました。



後半は、中国・インド・インドネシアの経営倫理の現状と課題について、それぞれ日本経営倫理学会国際委員 野瀬哲郎氏、住友商事(株)幾田雅彦氏、日本工営(株)永井伸幸氏より報告をいただきました。



【スケジュール】

創立 10 周年記念式典	
10 : 30-10 : 45	経営倫理実践研究センター会長 挨拶
10 : 45-11 : 00	日本経団連会長 挨拶
11 : 00-12 : 00	記念特別講演「政治はどこへ行く」 朝日新聞論説主幹 若宮 啓文氏
12 : 00-12 : 50	昼食ビュッフェ懇親パーティ（於 樺山ルーム）
第 10 回経営倫理・国際シンポジウム	
13 : 00-13 : 10	趣意説明 経営倫理実践研究センター会長 水谷 雅一
13 : 10-14 : 15	基調講演 「東アジア経済の現状と将来」 社団法人日本経済研究センター会長 小島 明氏
14 : 30-17 : 00	三大国の実情と課題 (i) 14 : 30~15 : 10 中国関係 「中国に於ける経営倫理の現状と課題」 野瀬 哲郎 氏（日本経営倫理学会 国際委員） (ii) 15 : 10~15 : 50 インド関係 「輝きを増すインド経済とその影～経営倫理の現状と課題～」 幾田 雅彦 氏（住友商事株式会社名古屋支社鉄鋼第二部部長代理、 インド住友商事元副社長） (iii) 15 : 50~16 : 30 インドネシア関係 「インドネシアに於ける経営倫理の現状と課題」 永井 伸幸 氏（日本工営株式会社コンプライアンス室長代理） (iv) 16 : 30~17 : 00 質疑応答と総括